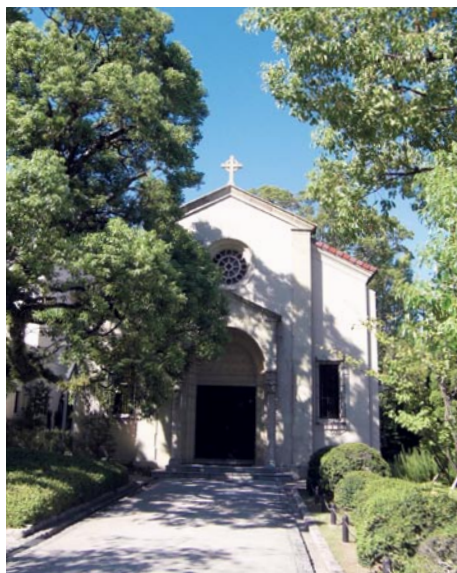


チャペル週報

だから、キリストと結ばれる人はだれでも、
新しく創造された者なのです。
古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。

(コリントの信徒への手紙二5:17)



2011.1.6～1.13 No.28
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

1月6日(木) 神 公現日礼拝 水 野 隆 一(神学部教授)
文 アンドレアス・ルスターホルツ(宗教主事)
社 エピファニー(公現日)を覚えて 打 樋 啓 史(宗教主事)
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
国 English Chapel Eun Ja Lee(宣教師)
聖和 震災を覚えて

総 李 政 元(総合政策学部准教授)

1月7日(金) 院 樋 口 進(宗教センター宗教主事)
神 平 林 孝 裕(国際学部宗教主事)
文 English Chapel Andreas Rusterholz(宗教主事)
経 Music Chapel Timothy Dale Boyle(宣教師)
人 芝 野 松次郎(人間福祉学部教授・学部長)
聖和 田 淵 結(宗教主事)
理 新年礼拝

1月11日(火) 神 鈴 木 優 介(神4)
文 アンドレアス・ルスターホルツ(宗教主事)
社 インドでの活動報告 長 麻奈美(経2)
法 English Chapel Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
商 小 菅 正 伸(商学部教授・学部長)
国 伊 藤 正 一(国際学部教授・学部長)
聖和 芝 田 正 夫(教育学部教授・学部長)
総 村 瀬 義 史(宗教主事)

1月12日(水) 西宮上ヶ原キャンパス学部合同チャペル
阪神・淡路大震災記念合同チャペル
於:ランバス記念礼拝堂
聖和 広 渡 純 子(短大学長)
理 「あの日を忘れない～阪神淡路大震災を想起して」
総 小 池 洋 次(総合政策学部教授)

1月13日(木) 神 土 井 健 司(神学部教授)
文 アンドレアス・ルスターホルツ(宗教主事)
社 学年末にあたって 宮 原 浩二郎(社会学部教授・学部長)
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
国 平 林 孝 裕(宗教主事)
聖和 2010年度感謝礼拝
総 村 瀬 義 史(宗教主事)

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
1月7日(金) 新年を迎えて *震災16周年(1月17日) 樋 口 進

初等部の「マスタリー フォア サービス」

磯 貝 暁 成

関西学院のスクールモットー「マスタリー フォア サービス」が、初等部の学校生活の学びの根底に流れていることを、こどもたちは日々の礼拝の中で学んでいます。

深い意味を宿したこのスクールモットーが一人ひとりの心の中に染み透っていくには、学院を卒業してからの人生のさまざまな機微を経験する必要があることを、多くの同窓生が実感するところですが、この言葉の意味を小学生にも理解できるようにと考え、初等部では「社会と人のために自らを鍛える」と表現しています。

子どもたちが初等部で様々なことを学ぶのは、自分のためのみならず、社会と人のための「何か」をできるようにするために自ら学んでいるのです、と話す、子どもたちは素直な気持ちでこの言葉を受け留めてくれています。

マスタリー フォア サービスの精神を子どもたちにも分かってもらう一つの言葉として、開校して早々の礼拝で、子どもたちに「譲」という漢字を紙に書いて見せました。この漢字は乗り物の中で席を譲るという表現からも、子どもたちが日常生活の中で理解できる言葉でした。

初等部生には、通学の電車やバスの中では「座るに遅く、立つに早く」を心がけることを願っています。これは初等部生のめざすものである「自立（自ら立つ）」という言葉の実践の一つとも関係しています。自ら立つということは、簡単なようで自然になかなかできないものです。先ず自分たちが毎日利用する乗り物の中で、この譲ということが自然にできるたくましく、清々しい心が育つことをわたくしは教師は願っています。同じように子どもたちに、誰もが争って先を急いでいる時、あなたが自分自身をほんの二三歩譲ってごらん下さい、ドアの前で誰かに「どうぞ」と言うように。するとそこに、これまでとは違った人と人との出会いが生まれてきます。この自ら譲る心を小さな時にこそ身につけていただきたいのです。

現実には、子どもたちが日々の生活の中でこのことをさらりと実践するのはまだまだ難しいことです。ただ、関西学院に連なる初等部のわたくし達もまた、マスタリー フォア サービスという大きな使命を背負っているのだということ、を心の片隅に忘れないで刻み込んでいて欲しいと強く願って、日々の学校生活の中で繰り返し語っています。

(初等部部长)

●**阪神・淡路大震災記念合同チャペル（16周年）**

と き：2011年1月12日（水）10:35～11:05

ところ：ランパス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

●**宗教活動委員会 第3回教育研究部サロン**

総合学園でのキリスト教主義教育を考える（3）

「関西学院の初等・中等教育におけるキリスト教主義教育の実践～ミッションへのアクション～」

と き：2011年1月24日（月）17:00～

ところ：関西学院会館 翼の間

報告者：福万 広信（初等部宗教主事）

福島 旭（中学部宗教主事）

松隈 協（高等部宗教主事）

●**大阪梅田キャンパスチャペル**

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロースタワー14階の大阪梅田キャンパスではチャペルアワーを開催しています。

1月7日（金）、14日（金） 18:00～18:20 1405教室

●**チャペルオルガニスト「卒業演奏会」**

各学部のチャペルアワーをはじめ各種式典などでオルガン奏樂を務めるチャペル・オルガニストから、今春5名が関西学院大学を巣立ちます。それぞれ学生時代の思い出を胸に、これまでのレッスンと練習そしてチャペルでの経験すべてをこの日の演奏に託します。

どうぞご来場いただき、学生時代最後の演奏に拍手をお願いします。

と き：2011年3月5日（土）14:00～

ところ：ランパス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

●**CD・DVDライブラリー**

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●**盲導犬育成のためご協力をお願いします**

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

●**今号が本年度「チャペル週報」の最終号です**

2011年度は4月7日（木）号からの発行となります。新年度のチャペルや宗教センター、宗教活動委員会、吉岡記念館主催の催し物などのご案内をしております。また瞑想欄では、教職員の方々によるメッセージやエッセイを掲載しますのでご期待ください。